

(4) スポーツ振興

⑩スポーツ・レクリエーション活動の振興

取り組むべき主な施策	スポーツ活動の促進	達成度の評価	A
推 進 方 策	スポーツ活動の場・機会の確保、スポーツ指導体制の整備促進		
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>各種体力づくり団体、スポーツ団体及びニュースポーツの紹介を行い、団体による各種スポーツ教室の普及促進に努める。</p> <p>レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い活動を支えるため、指導者の確保、養成、団体育成を促進する。</p>			
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ出前講習や大会の開催、スポーツ少年団活動の促進、学校開放事業の推進 ・各種スポーツ団体の連携強化、指導者の育成 <p>2. 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達市体育協会道南スコール共同企業体やスポーツ推進委員会などとの連携のもと、「ヨガ教室」「種目別（卓球・硬式テニス・夏休み小学生水泳・パークゴルフ・フロアカーリング・スキー）初心者スポーツ講習会」「ふまねっと運動出前講座（17カ所）」等各種教室を開催。 ・「父ちゃん野球大会」「フルムーンパークゴルフ大会」「トリムバレーボール大会」等を開催 ・スポーツ少年団やスポーツ団体、地域体育振興会の活動、管内スポーツフェスタ参加等への財政的支援を行うとともに、「市民スポーツ賞」（19個人、4団体）及び「市民体力づくり運動功績者行賞」（17名）の表彰を実施 ・市内小学校、中学校施設（体育館及びグラウンド）の開放事業を実施（星の丘小中学校を除く） ・各種スポーツ団体が連携・協力し「春一番伊達ハーフマラソン」「ノルディックウォーキング大会」「スキーマラソン大会」などを実施 ・スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会やスポーツリーダー養成講習会などへの派遣、指導者・育成母集団合同研修会などを実施 			

≪平成29年度の評価≫

年齢や体力、健康志向等に応じた各種スポーツの機会の提供と、青少年や地域のスポーツ活動の普及促進を図ることができた。

各種大会等の実施にあたっては、各種スポーツ関係団体との協力が不可欠であり、その連携のもとで事業が展開された。また、各種スポーツ団体においては、講習会への派遣や研修会を実施し、指導者等の育成、資質の向上に資することができた。

※スポーツ教室開催数 19種目、22教室実施

成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値
		H27	H28	H29	
スポーツ教室数	16教室	17教室	24教室	22教室	20教室

≪今後の課題と対応方向≫

- ・温水プールやトレーニング室のみならず施設の有効活用へ向け幅広い年齢層を対象とした各事業を実施する。
- ・健康意識の高揚を図り、ニュースポーツの普及や各種スポーツ・レクリエーションを楽しめる機会と活動環境の整備・充実を図る。
- ・スポーツ・レクリエーションの各種目に対応した指導力の向上と指導者の育成を行う。

取り組むべき主な施策	スポーツ施設の整備・充実	達成度の評価	A															
推 進 方 策	スポーツ施設の整備、スポーツ施設運営の充実																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>体育館、プール・トレーニング室、館山野球場及びパークゴルフ場などを計画的に整備するとともに、日常的に活動できる施設の確保に努める。</p> <p>施設の管理にあたり指定管理者制度を導入し、市民の利用形態に応じた利用時間や施設の提供について弾力的な運用を行い、利便性の向上に努める。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との連携強化 ・利便性向上のための施設の弾力的運用の推進 <p>2. 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびの里サッカー場研修棟屋上防水改修 ・平成28年度から伊達市体育協会道南スコール共同企業体として、総合体育館、プール、体育施設（武道館、関内P G場、館山球場等）の指定管理を一本化した。 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>総合体育館、プールの指定管理を一本化し、指定管理者間（体協・スコール）のさらなる連携強化が課題となっているが、積極的な自主事業への取り組みと新たな事業を実施することにより、施設の利用促進が図られ、市民の健康・体力づくりに資することができた。</p> <p>※体育施設等ののべ利用者数 421,762人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ施設等のべ利用者数</td> <td>222,262人</td> <td>416,407人</td> <td>443,395人</td> <td>432,581人</td> <td>400,000人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	スポーツ施設等のべ利用者数	222,262人	416,407人	443,395人	432,581人	400,000人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
スポーツ施設等のべ利用者数	222,262人	416,407人	443,395人	432,581人	400,000人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の計画的な改修及び備品等の更新計画作成に向けた検討が必要 ・温水プール&トレーニング室、総合体育館全体の利用者数は概ね25万人程度で推移しているものの、より多くの方に利用し続けてもらえる魅力ある施設となるよう指定管理者と連携を図る必要がある。 																		